

**五本松運動広場サッカー場・ラグビー場整備に係る  
サウンディング型市場調査 実施結果概要**

**1. 調査の目的**

本市では、五本松運動広場にサッカー場・ラグビー場の整備を検討しています。施設の整備にあたっては、財政負担の軽減と、効率的な維持管理等を進めるとともに、魅力あるスポーツ施設の整備が求められています。また、五本松運動広場周辺地域の賑わいや魅力向上を図るため、ふれあいキャンプ場をはじめ周辺施設との一体的な活用についても検討することとしており、様々な整備手法や事業手法を民間事業者との対話を通じてアイデアや意見等を把握するサウンディング型市場調査（以下「サウンディング」という。）を実施しました。

**2. 実施経過**

内 容	日 程
実施要領公表	令和4年6月28日（火）
現地見学会の実施	令和4年7月8日（金）～7月21日（木）
対話の申込み期間	令和4年6月28日（火）～7月22日（金）
対話の実施	令和4年8月16日（火）～8月31日（水）

**3. 参加事業者**

8社

**4. サウンディング調査結果**

サウンディングにおける意見概要は次のとおりです。

対話項目	意 見 概 要
①五本松運動広場を整備・運営する事業手法	<u>ア. サッカー場の整備・運営する事業手法</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・事業規模からして、PFI で実施することは難しい。</li><li>・設計・施工・管理まで一括発注の方がコストは安く抑えられ、管理も容易になる。</li><li>・施工においては、対応可能なところは、市内業者にお願いすることを基本と考えている。</li><li>・施設の規模からしてサッカー場だけの独立採算は厳しい。</li></ul>
	<u>イ. サッカー場整備のほかに、収益性が見込めるスポーツ施設及び収益施設を整備することによって、当該施設の維持管理費等を賄うことが可能であるか</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・収益により維持管理費を賄うことは難しい。</li><li>・照明はある方が良い。夜間利用が可能となり利用率が上がる。</li><li>・照明があれば夜間にスクール等も実施できるが、なければ利用は休日の昼間ばかりとなる。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明は必要だと考える。練習程度の利用であれば、100ルクス程度でも良い。</li> <li>・照明は全面または一部のみの設置も可能。</li> <li>・フルピッチのサッカー場に加え、フットサル専用コートがあった方が収益性は上がる。</li> <li>・バスケコート、ウレタン舗装の陸上用走路があるとより多目的に利用することが出来る。</li> <li>・スケートボード等が出来るアーバンスポーツ施設の整備も可能である。</li> <li>・ドッグラン施設の整備も可能である。</li> <li>・サッカー・ラグビー場とあるが、限定しない方が良い。利用者数にも影響してくる可能性がある。あくまでも多目的に使用できる方が、施設の価値も上がる。</li> </ul>
	<p><u>ウ. 整備費用の抑制や工期短縮に向けた事業手法</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工芝設置時の下地処理において、アスファルト舗装をなくすことで費用・工期を削減できる。ただし、不陸の調整が行き届かず多少歪みが生じる（ラインも歪んで見える場合がある）。</li> <li>・既設面からかさ上げしてコート整備を行うことにより、残土を低減し、費用及び工期を抑制することが可能である。</li> <li>・設計・施工・リース・指定管理を全て一括発注とし、支払いは事業期間内で項目ごとの分割払いを想定。期間内の支出を平準化することができる。</li> </ul>
	<p><u>エ. ネーミングライツの可能性</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者だけではなく、通行人（車）にわかるようにすることがポイント。（駐車場フェンス、防球ネット等）</li> <li>・クラブハウスや、休憩用のベンチに企業名を記載することもできる。</li> <li>・ネーミングライツ導入の際は、新設する看板等の制作費も含めることもできる。</li> </ul>
	<p><u>オ. グランドの運営について（指定管理者制度、イベント開催、利用料金等）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案された事業期間は「5年以上」「10年」「20年」と事業者により異なる。</li> <li>・現在の使用料は安すぎるため、改定してもらう必要がある。</li> <li>・様々な自主事業・スクールを展開できる。</li> <li>・ラグビー関係のイベントも出来る。</li> <li>・アプローチの仕方次第で、様々な企業の協賛を得てイベント開催可能。</li> </ul>

	<p><u>カ. 周辺環境（樹木の落葉等）を踏まえたグラウンドのメンテナンスについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に機械を入れてブラッシングを行う。</li> <li>・落葉等に関してはブロワー等で日常清掃を行う。</li> <li>・人工芝の耐久性能は向上しているため、プロや学生が毎日使用するような施設でなければ、10年目に全面張替えすることは稀である。</li> <li>・防球ネットの高さを10m程度とすれば、上から大量の落ち葉が入ってくることは考えにくい。地上から1m程度は防球ネットの目を細かくすることで、下からの流入を防ぐことができる。</li> </ul> <p><u>キ. スケジュールに関する要望について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計6か月～1年程度</li> <li>・施工4～6か月程度</li> </ul>
<p>②その他自由提案</p>	<p><u>ア. 五本松運動広場を含めた周辺施設の魅力向上について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ場の活用は容易だが、管理・運営も含めると規模が小さすぎる。</li> <li>・キャンプ場の管理も可能だが、現在の使用料で賄うことは難しい。</li> <li>・キャンプ場との一体管理は、管理体制上、難しい。キャンプ場まで含めて対応する場合は、アウトドア業者と組んで提案することになる。</li> <li>・五本松公園の一部までサイト（テントエリア）を広げられれば、可能性は広がる。</li> </ul> <p><u>イ. 五本松運動広場及び周辺施設の一体的な整備・管理運営による、市財政負担の軽減の可能性について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ場については、市が施設整備を担えば、その後に独立採算で運営出来る可能性はある。</li> <li>・キャンプ場の現在の規模では、管理をすることはできるが、市の財政的な負担を減らすことはできない。施設の新設など手を加えるには面積が狭すぎる。</li> <li>・五本松運動広場、五本松公園、ふれあいキャンプ場はそれぞれ管理者が異なっており、利用者の利便性を低下させていることが推察されるため、一体での管理が望ましい。</li> </ul> <p><u>ウ. その他市への要望など</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全世界共通の目標としてSDG'sが掲げられており、貴市もゼロカーボンシティ宣言を行っていることから、本施設整備の際にも再生可能エネルギー設備等の導入が望ましいと考える。</li> <li>・人工芝の充填剤に自然素材の製品がある。メンテナンスが必要だが、環境にやさしく（流出しても環境汚染しない）、圧倒的な暑さ（熱中症）対策にもなり匂いがいい。</li> <li>・人工芝設置の下地処理について、アスファルト舗装は必須ではないが、</li> </ul>

	<p>推奨する。舗装のない多くの施設で、人工芝の張替え時にアスファルト舗装をやり直している。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日影がないため、屋根の設置を検討した方が良い。</li><li>・駐車場は狭い。拡張または現在の駐車場を2階建て程度に立体化する必要がある。</li><li>・倉庫は必要。持ち運びできる備品は管理棟、ラグビーポール等大型備品はグラウンドエリアに大型の倉庫がある方が良い。</li><li>・選手のことを考えるのであれば、天然芝をお勧めする。また、初期投資は高いが、人工芝は張替えが必要なため、長期的にみると、費用は変わらない。</li></ul>
--	---